



(12)

昭和の初め頃、飛行機の爆音がする、たいていの人は空を見上げたものでした。そんな飛行機がまだ珍しい時代に、新津の上空を旋回し、急上昇、とんぼ返り、背面飛行、きりもみ降下などの高等演習に披露した飛行士を記憶されている方もおられるでしょう。この飛行士は、わが国航空界の先駆者といわれ、細心にして豪胆、無事故の記録をうちたて、一九二八年、国際航空委員会から栄

空の先駆者・酒井憲次郎

ました。金津小学校を卒業して長岡工業学校(現立)に学び、大正十一年、航空局第三期陸軍委託生として所沢飛行学校へ入りました。大正十四年、技能優秀で一等飛行操縦士となり、陸軍航空本部に勤務。のち朝日新聞社に入社し、東京、大阪間の旅客空輸に従事しましたが、ハーモン・トロフイーを授与されたのはこの時代でした。

昭和六年に満州事変が起き、新聞社の命令で戦場の上空を飛び、戦線のニュースを送り続けていましたが、昭和七年九月十五日、当時の満州国と日本の議定書調印の歴史的な写真や映画を空輸するにあたり、新たな日本海航空路開拓の使命を帯びて新京を出発しました。しかし、朝鮮の清津港を経て日本海を縦断し、山陰道の陸地にさしかかったとき、悪天候に阻まれて鳥取県津東村沖の海上で遭難、殉職しました。春秋わずか三十歳でしたので、平和な時代にあつて、現在も生存されているとすれば八十歳です。航空界として、郷土としても惜しみて余りある人物でした。

なお、古津の広大寺の山門を入った左手に、ひととき高い憲次郎の碑があり、その碑には略伝が記されています。

* * *

新津に関係のある古い書きものや、明治・大正・昭和の書きもの、言い伝えなど、市史編さんの参考になると思われるものがありまして、なんでも結構です。ぜひ、市史編さん室(四五一五五九九)へご連絡ください。さるようお願いいたします。

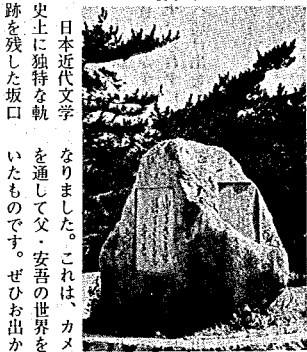


愛機の前に立つ酒井憲次郎

譽あるハーモン・トロフイーを授与された古津出身の酒井憲次郎でした。

憲次郎は、明治三十六年七月二十六日、父岩太郎、母トミの三男として生まれて、航空界として、郷土としても惜しみて余りある人物

風景のいる写真展 坂口網男氏の父の世界



新潟海岸の安吾の石碑



坂口安吾

安吾は、新潟が生んだ作家であり、当市にもゆかりの深い人ですが、このたび安吾の長男で、フリーのカメラマンをしている網男氏が「安吾のいる風景」写真展を開くことに

日本近代文学史上に独特な軌跡を残した坂口安吾の世界を描いたものです。ぜひお出かけください。

□とき：六月二十四日(金)・二十六日(日)の午前九時三十分以後五時

□ところ：図書館展示室

※坂口網男氏は、昭和二十八年生まれの二十九歳、東京写真専門学校を卒業後、雑誌やカメラ関係で写真の仕事をしたあと、五十五年からはフリーのカメラマンとして活躍しています。



もしも…に備え連合消防演習

6月5日、市民会館駐車場で連合消防演習が行われました。威風堂々たる分列行進や消防自動車のパレード、一斉放水などを披露。またこの演習では、消防団による消防ポンプ操法競技会が行われました。結果は次のとおりです。①…小口 ②東金沢・新金沢町 ③…出戸・浦奥野・四ツ野

お買物、ご用命は市内で

春一番!! ご贈答品に新製品登場……!!

ゴルフ・オリエンタル

パリッとした洋風センベイにフレッシュクリームをサンドしました。本町2丁目 ☎ 2-0112

にいつ **おサカヤ**

